

2026年7月9日

イオン北海道株式会社

公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会

PMF×イオン チアーズクラブのコラボレーション企画

子どもたちがPMFの世界を体験！

クラシック音楽を気軽に、身近に楽しむワークショップ・コンサートを鑑賞 ～出演者へのインタビューやコンサートホール見学も～

イオン北海道株式会社（以下、イオン北海道）と公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会（以下、PMF組織委員会）は、パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌（以下、PMF）2026の開催地である札幌の次代を担う子どもたちに、日常では得られない体験をしてもらう企画として7月11日（土）にコラボレーション企画を実施します。



©Mino Inoue



＜ワークショップ・コンサート 「海の仲間の音楽会」＞

イオン北海道とPMF組織委員会は、イオン チアーズクラブ※の子どもたちに貴重な体験をしてもらう場として、国際的な教育音楽祭である、PMFのバックステージ見学やアカデミー生との交流などを体験してもらうコラボレーション企画を2023年より実施しており、今年で4回目となります。

今回は、PMFが企画する「PMFクラシックLABO♪」の中で、世界中の多様な音楽に触れながら歌・リズム遊び・踊りなどで参加することを楽しみ、親しむことを目的としているワークショップ・コンサート「海の仲間の音楽会」を、イオン チアーズクラブの子どもたちが鑑賞します。このほか、出演者の方々へのインタビューやコンサートホールK i t a r aの舞台裏見学も行います。

イオン北海道とPMF組織委員会は、子どもたちが健やかに成長し、笑顔あふれる未来にするため、今後も学習機会の提供と青少年の健全な育成を支援する活動を継続して行なってまいります。

※イオン チアーズクラブは、公益財団法人イオンワンパーセントクラブの「青少年の健全な育成」事業の一つで、小中学生を中心とした子どもたちが、全国のイオングループの店舗周辺を活動拠点として、環境や社会貢献をテーマに様々な体験学習を行い、楽しく学び、考える活動をしており、道内ではイオン42店舗で発足しています。

【PMF×イオン チアーズクラブのコラボレーション企画 実施概要】

日 時：7月11日（土） 14時～15時45分

場 所：札幌コンサートホールK i t a r a

参加人数：26名（イオン チアーズクラブ 東札幌9名、イオン チアーズクラブ 札幌琴似9名、イオン チアーズクラブ 石狩緑苑台8名、）

体験内容：バックステージ見学、ワークショップ・コンサート「海の仲間の音楽会」鑑賞、出演者の方へのインタビュー、写真撮影

【本件に関するお問い合わせ先】

イオン北海道株式会社 コーポレートコミュニケーション部 電話番号：０１１－８６５－９１１１

公益財団法人PMF組織委員会 電話番号：０１１－２４２－２２１１

ご参考

■PMFについて

PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌）は、世界の若手音楽家の才能を開花させるため、２０世紀を代表する指揮者で作曲家のレナード・バーンスタインが、１９９０年に札幌に創設した国際教育音楽祭です。オーディションで選ばれた世界各国の若手音楽家が夏の一カ月間、札幌に集まり、世界を代表するオーケストラの首席奏者をはじめとする教授陣から直接指導を受け、札幌市を中心に演奏会を開催します。これまで３５年以上にわたり世界７９カ国・地域延べ約３，９００人の優秀な音楽家を輩出してきました。

■公益財団法人イオンワンパーセントクラブについて

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオングループの基本理念を具体的な行動に移し、社会的責任を果たすことを目的に、１９９０年に設立されました。以来、お客さまにイオングループをご利用いただいて生まれた利益の１％相当額をもとに、「青少年の健全な育成」「諸外国との友好親善」「地域社会の発展への貢献」「災害復興支援」を主な事業領域として、環境・社会貢献活動に取り組んでいます。

■ご利用金額の一部がPMFなど札幌市の文化芸術振興に活用されている

「創造都市さっぽろWAON」の概要について

「創造都市さっぽろWAON」は、「さっぽろまちづくりパートナー協定」の一環として２０１４年３月に発行しました。このWAONをイオングループの各店舗とWAON加盟店でご利用いただくことにより、その利用金額の一部を札幌市に寄付し、札幌の夏を彩る音楽イベント「PMF（パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌）」や札幌市の全小学校６年生を札幌コンサートホールに招待する「K i t a r a ファースト・コンサート」などの子どもの文化芸術体験事業に活用されております。